



# 小城市立歴史資料館 ✿ 中林梧竹記念館だより

## 小城市立歴史資料館・中林梧竹記念館 新収蔵品展を開催中

- ◆期間 ~7月17日(日)
- ◆場所 歴史資料館 企画展示室
- ◆入場料 無料

昨年度、購入・寄贈・寄託などにより収集した古文書や中林梧竹書、埋蔵文化財などを紹介しています。資料をご提供いただきました所有者の皆さまに厚くお礼申し上げます。



にきょびょうぶ  
二曲屏風▶

## 文化財説明板を設置しました

文化課では「~小城どこでんミュージアム~屋根のない博物館構想」に基づいて、毎年市内各所に所在する文化財などに順次説明板の設置や、古くなった物の更新をしています。

令和3年度は、牛津町の牛津会館と芦刈町浜中の沖神社の説明板を更新しました。お近くに行かれた際には、ご見学ください。



▲芦刈町浜中の沖神社

## おぎの歴史探検隊

### 長崎を往復した小城藩主ー『長崎御往来日記』〈その2〉

小城藩9代藩主鍋島直堯は、文政7(1824)年当時24歳。4月、参勤交代で江戸から戻っていたところ、5月1日、長崎行を佐賀藩主鍋島齊直から命じられました。5月3日には、小城藩士39名に随行を命じ、長崎行の準備を進めています。随行を命じられた藩士の中には、経験を積ませるため、子弟を同行させる願いを出す者もいました。小城藩日記の5月10日の記述には、長崎行について御供を命じられた川副又右衛門も息子の増次郎についても物事に馴れさせるために随身させて欲しいと願い出たとあります。

5月11日、小城を出発した一行は、六角(白石町)で休憩し、濱(鹿島市)に宿泊しました。12日、湯江(長崎県諫早市)、13日矢上(長崎市)に宿泊しながら、14日五ツ時(午前8時頃)ようやく長

崎大黒町にある佐賀藩の長崎屋敷(現長崎駅付近)に到着します。

到着後、長崎の奉行所へ赴き、鍋島齊直の名代として番所見舞いに来たと挨拶をしています。

長崎御往来日記には、鍋島日向殿(神代鍋島家)が御機嫌伺いのため訪問した。鍋島孫六郎殿(深堀鍋島家)は訪問すべき所、病気のため代理の使者が来たとあります。

来客の応対後、明朝六ツ時(午前6時頃)集まり、巡見を行うと家臣たちに告げています。

(続)

小城郷土史研究会／著



❖開館時間 9時~17時 ❖休館日 毎週月曜日・祝日 小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財 検索  
【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132